



## 12 月期相場概況

12 月期の日経平均株価は約 1265 円上昇した。高値は期末 12/30 の日中高値 10707.51 円、安値は期初 12/1 日中安値 9233.20 円。

12 月期の日経平均は、前半、11 月末のドバイショックの反動と日銀が量的緩和政策に踏み出したことによりドル/円が 86 円台から 92 円台まで上昇となり、それと共に日経平均も大幅上昇となった。

12/1 に金融政策決定会合を開催すると前引け後に発表したことで、約 300 円の上昇を見せその後、12/7 まで日経平均は 6 日続伸し、心理的節目である 10000 円も突破した。その後 12/11 のメジャー SQ 算出を控え 10000 円を割り込む場面も見られたが、期末には相場参加者が少ない中ドル/円の上昇も手伝って年初来高値を更新する場面もみられた。そして、12/30 日中に 12 月高値 10707.51 円をつけるが、後場は利益確定売りに押され 10546.44 円で今期を終えた。

リンカーン・インヴェストメント株式会社